

VOCODER VC340

Authentic Analog Vocoder for Human Voice and Strings Ensemble Sounds from the '80's

JP

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ（三芯）プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついて 있습니다。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2018 無断転用禁止。

限定保証

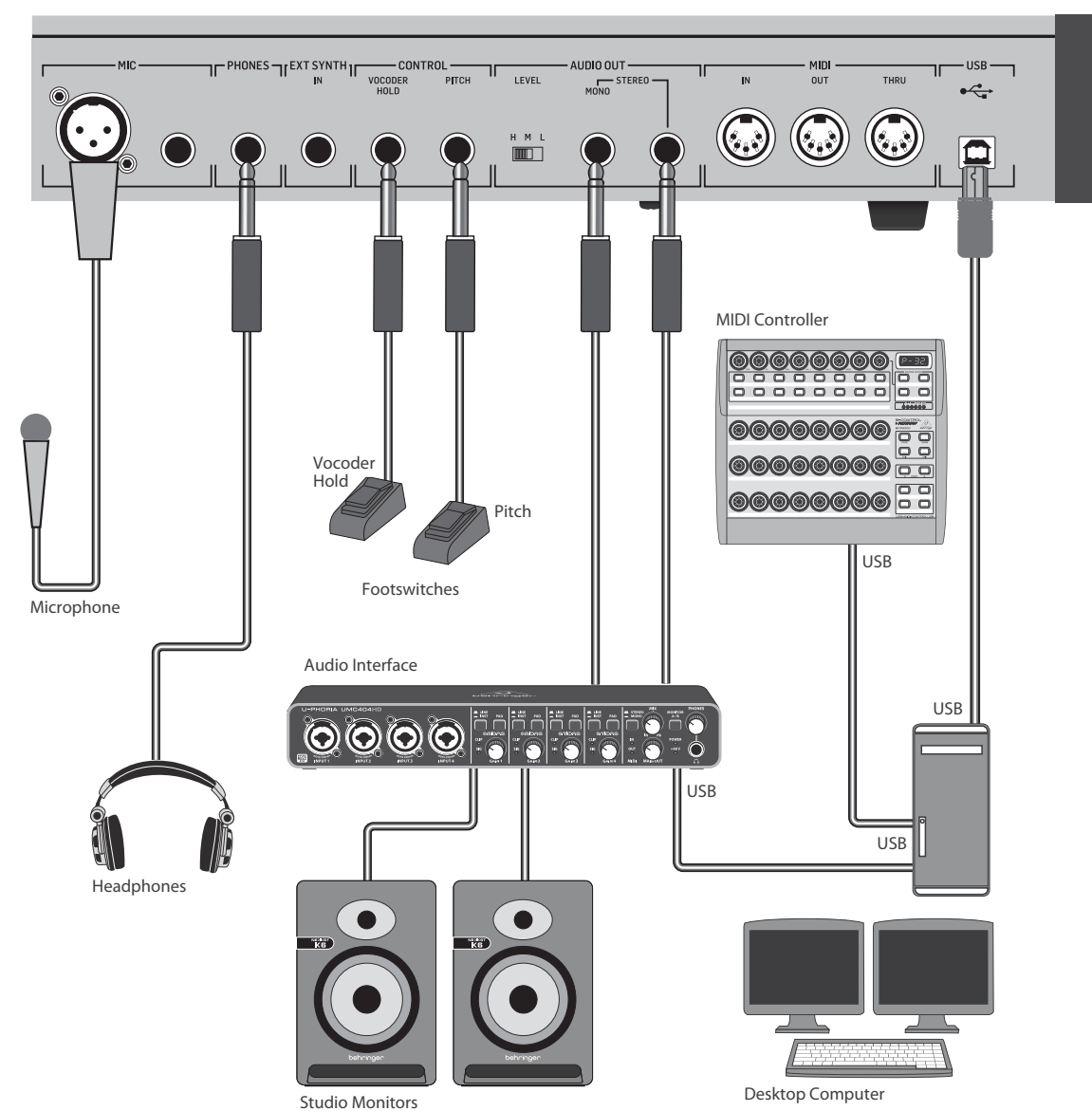
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

VOCODER VC340 フックアップ

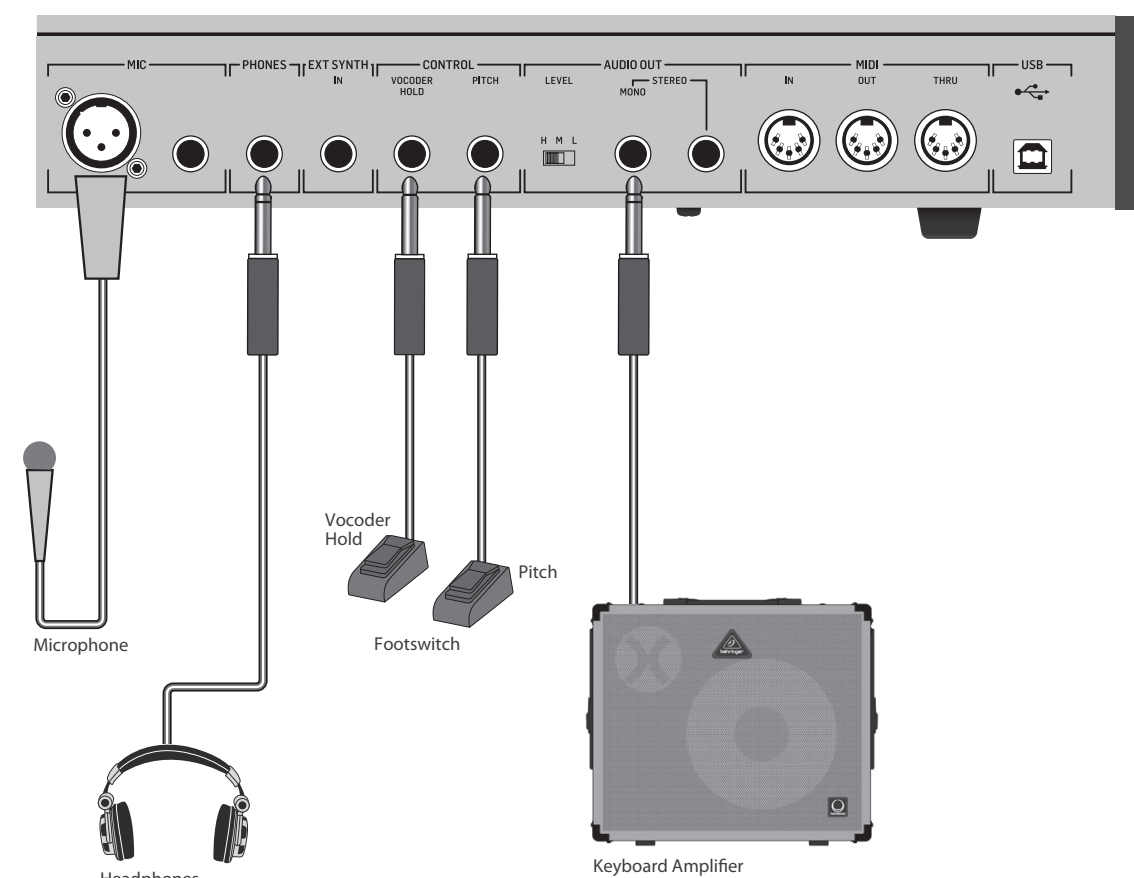
JP

ステップ 1: フックアップ

Studio System



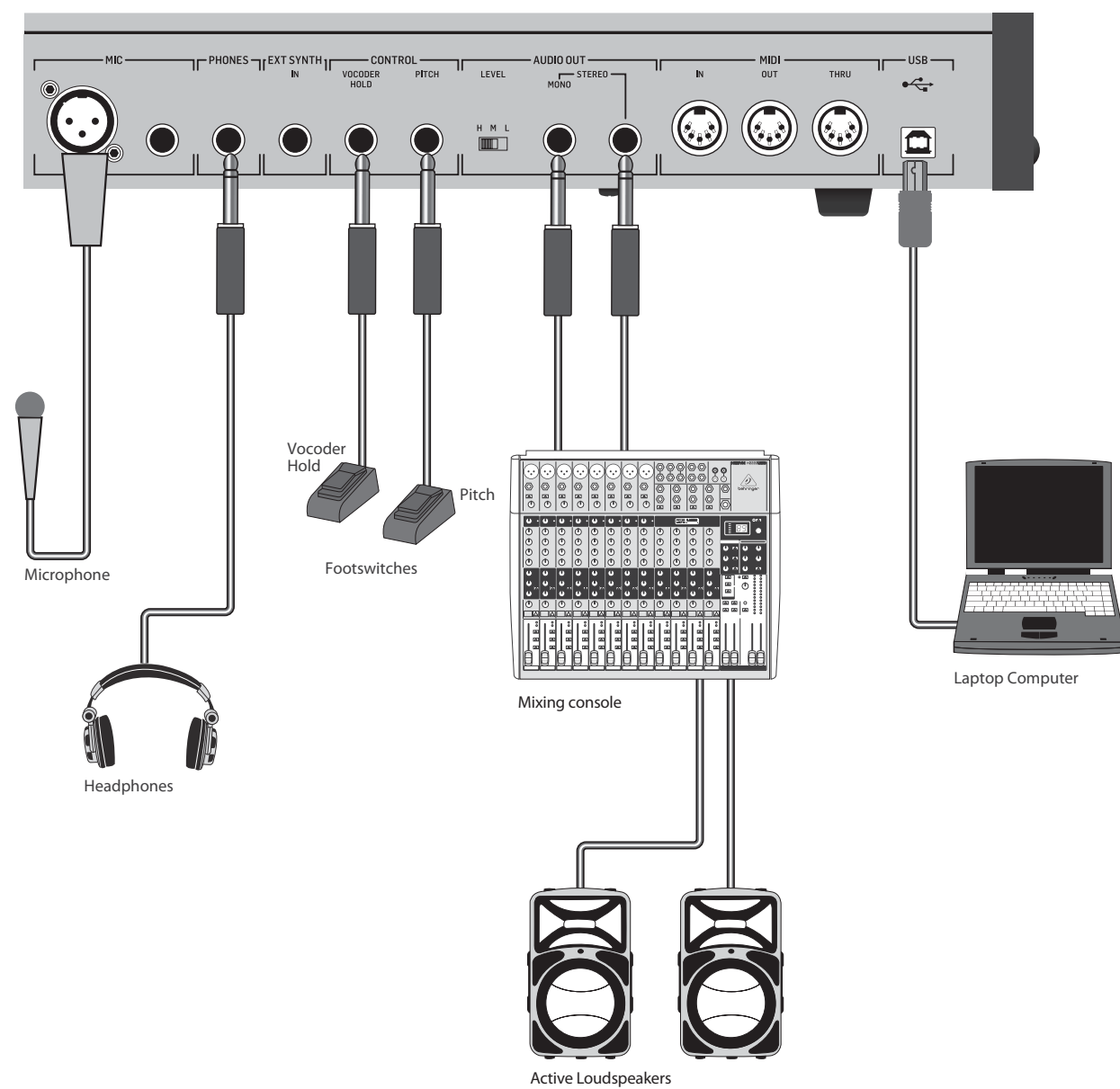
Band / Practice System



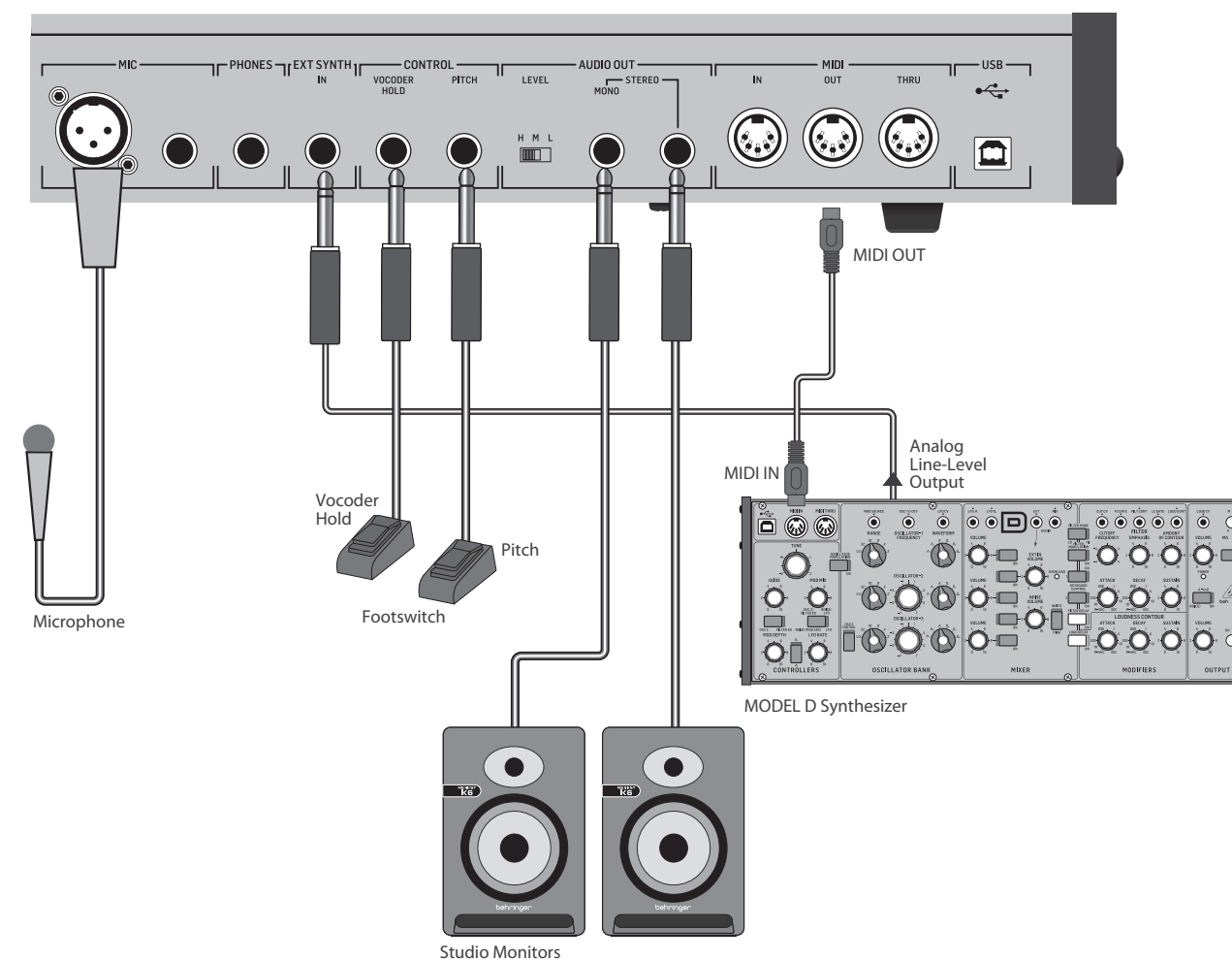
VOCODER VC340 フックアップ

JP

Live System



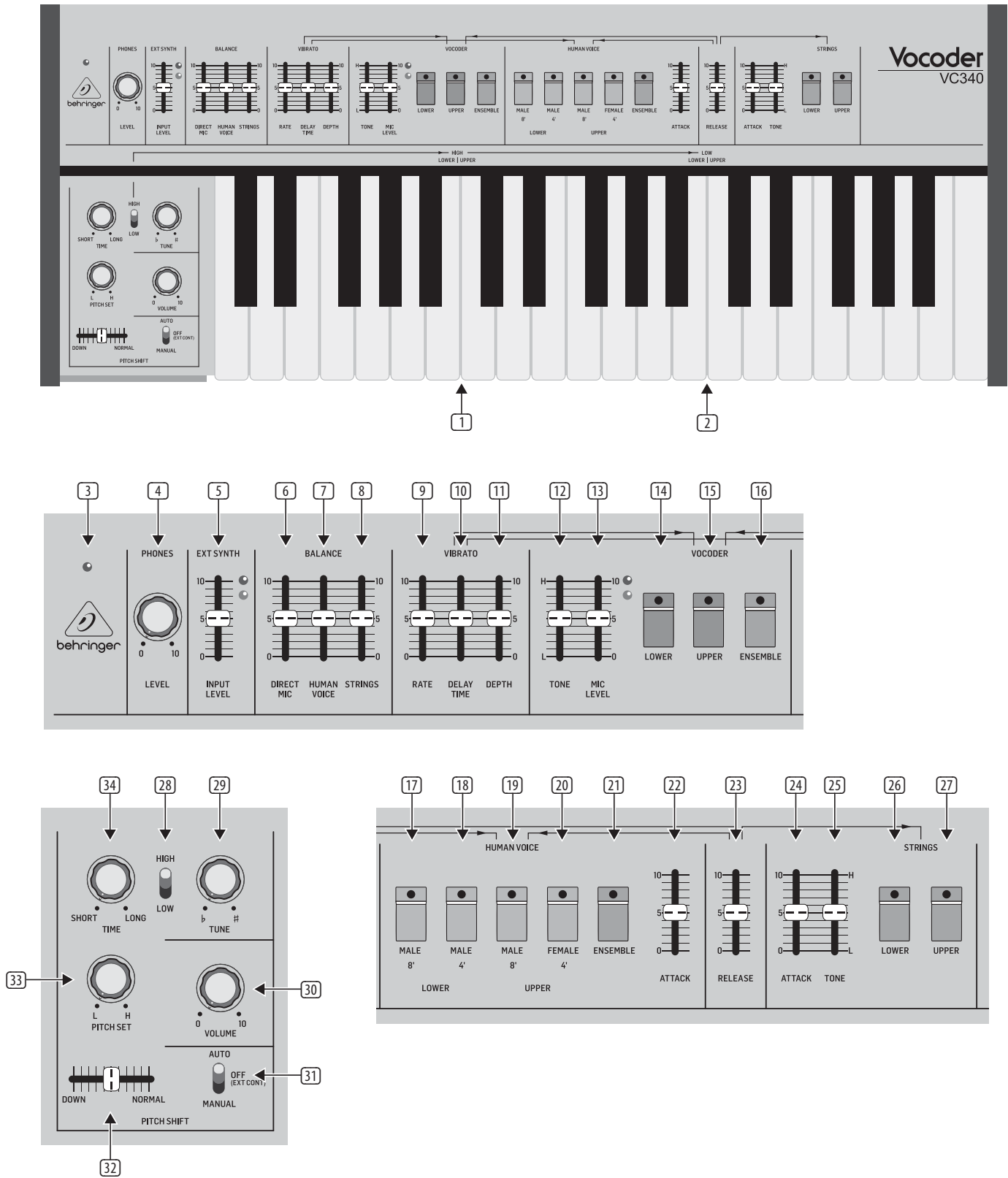
System with external Synthesizer



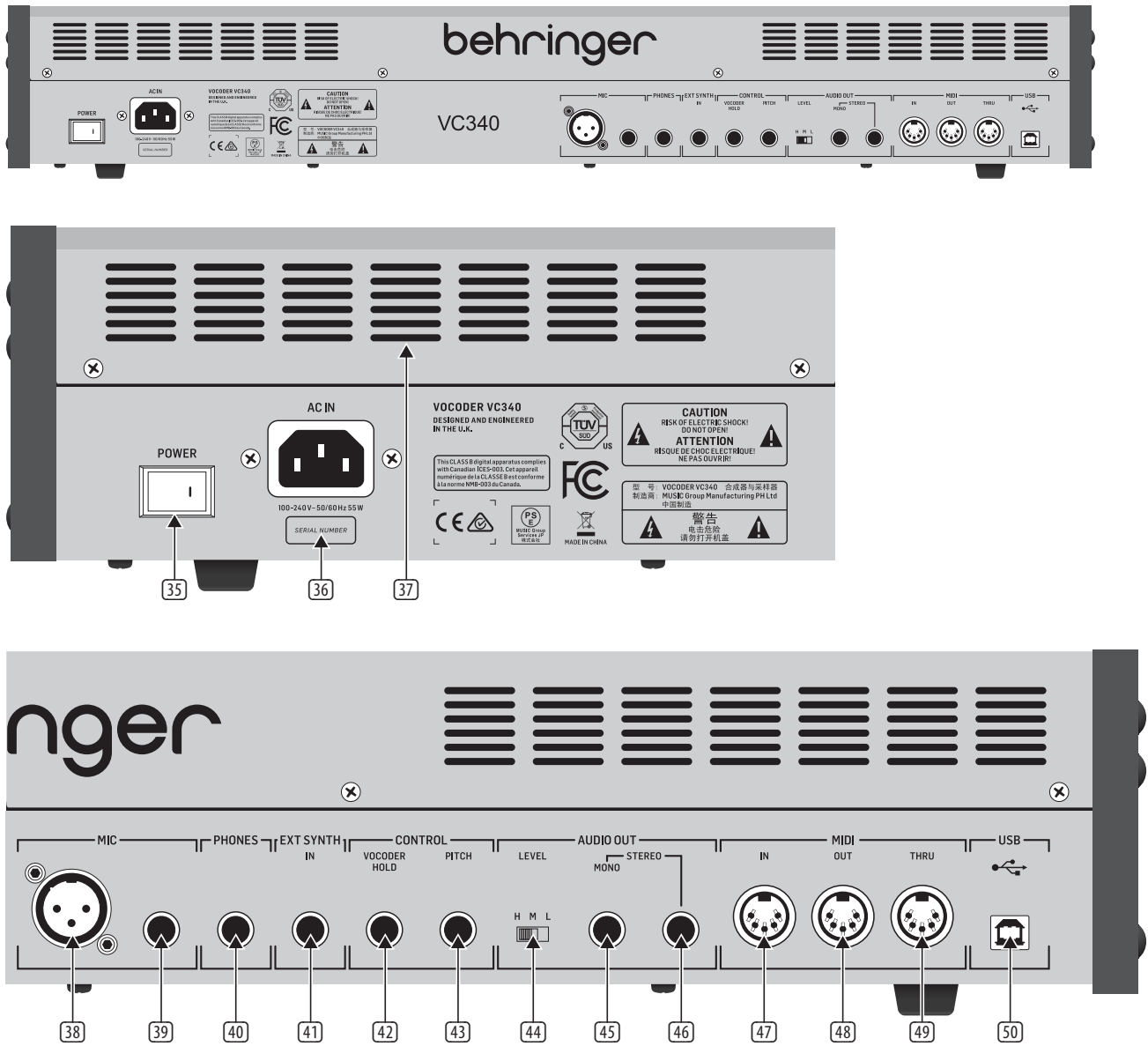
VOCODER VC340 コントロール

JP

Top Panel



Rear Panel



VOCODER VC340 コントロール

ステップ 2: コントロール

キーボード

本機には、オクターブスイッチの「Low/High (オクターブ低/オクターブ高)」設定によっていずれか決定する、2つのキーボードスプリット表示があります。

- ① **HIGH (ハイ)** – 「Octave (オクターブ)」スイッチを「HIGH (オクターブ高)」に設定した時のキーボードスプリット位置です。
- ② **LOW (ロー)** – 「Octave (オクターブ) スイッチ」を「LOW (オクターブ低)」に設定した時のキーボードスプリット位置です。

左上部

- ③ **電源 LED** – この LED は、電源に接続した **AC** アダプターを本機に繋げ、背面の「POWER (電源)」スイッチをオンにすると点灯します。
- ④ **PHONES LEVEL (ヘッドフォンレベル)** – 背面パネル「PHONES (ヘッドフォン出力)」の全体的な音量レベルを調節します。聴覚の損傷を避けるため、ヘッドフォンを装着する前にまず本ツマミのレベルを最小にし、徐々に快適なりスニング音量まで上げてください。
- ⑤ **EXT SYNTH LEVEL (外部シンセレベル)** – 背面パネルの外部シンセサイザー入力端子から入力される、オーディオの音量を調節します。入力レベルが高すぎる場合は、赤色の LED が点灯します。

Balance (バランス部)

各音源の音量バランスを調節する 3 本のフェーダーです。

- ⑥ **DIRECT MIC (ダイレクトマイクレベル)** – ボコーダーが作用してしない、ダイレクトなマイクロフォンボーカルの音量を調節します。
- ⑦ **HUMAN VOICE (ヒューマンボイスレベル)** – 「HUMAN VOICE (ヒューマンボイス)」の 出力レベルを調節します。
- ⑧ **STRINGS (ストリングスレベル)** – 「STRINGS (ストリングス)」の出力レベルを調節します。

Vibrato (ビブラート部)

ビブラートは「VOCODER (ボコーダー)」および「HUMAN VOICE (ヒューマンボイス)」に作用します。

- ⑨ **RATE (レート)** – 「VOCODER」および「HUMAN VOICE」を変調させる、低周波オシレーターの周波数を設定します。
- ⑩ **DELAY TIME (ディレイタイム)** – ビブラートが開始するまでの遅延時間を設定します。
- ⑪ **DEPTH (デプス)** – ビブラートエフェクトの深さを設定します。

Vocoder (ボコーダー部)

マイクロフォンから入力されるオーディオを元に、キーボードでボコーダーを演奏するためのセクションです。「MIC LEVEL (マイクレベル)」フェーダーでマイクロフォンの音量を調節し、お使いのスピーカーシステムからのフィードバックが起きないよう、「TONE (トーン)」および「MIC LEVEL」フェーダーを慎重に操作します。マイクロフォン信号の音量は「BALANCE (バランス)」部の「DIRECT MIC (ダイレクトマイク)」フェーダーでも追加できます。

- ⑫ **TONE (音色)** – 「VOCODER (ボコーダー)」部の音色を調節します。
- ⑬ **MIC LEVEL (マイクレベル)** – 背面パネル マイクロフォン入力端子から入力された、マイクロフォン信号のレベルを調節します。マイクロフォン信号の入力信号レベルが高すぎると赤色 LED が点灯します。
- ⑭ **LOWER (低音部)** – キーボードスプリットより低いキーで演奏する際に選択します。
- ⑮ **UPPER (高音部)** – キーボードスプリットより高いキーで演奏する際に選択します。
- ⑯ **ENSEMBLE (アンサンブル)** – ボコーダーにさらなるコーラス効果を創出します (音声を出力するには「UPPER」および「LOWER」スイッチのいずれか、または両方をオンにする必要があります)。

Human Voice (ヒューマンボイス部)

キーボードで人間の声のシミュレーションを演奏するためのセクションです。レベル調節は「BALANCE (バランス)」部の「HUMAN VOICE」フェーダーでおこないます。「4」 「8」といった印は、トラディショナルなドローバーオルガンのレンジ調節方式にならったものです (4' は 8' に比べ、1オクターブ高くなります)。

- ⑰ **LOWER: MALE 8' (低音部: 男性 8')** – キーボードの低音部を選択し、男声のシミュレーションを演奏します。
- ⑱ **LOWER: MALE 4' (低音部: 男性 4')** – キーボードの低音部を選択し、男声のシミュレーションを演奏します。
- ⑲ **UPPER: MALE 8' (高音部: 男性 8')** – キーボードの高音部を選択し、男声のシミュレーションを演奏します。
- ⑳ **UPPER: FEMALE 4' (高音部: 女性 4')** – キーボードの高音部を選択し、女声のシミュレーションを演奏します。
- ㉑ **ENSEMBLE (アンサンブル)** – ボコーダーに、さらなるコーラス効果を創出します (音声を出力するには「UPPER」と「LOWER」スイッチのいずれか、または両方がオンになっている必要があります)。
- ㉒ **ATTACK (アタック)** – 「HUMAN VOICE」部で演奏したノートが最大音量になるまでに要する時間を調節します。「0」に設定すると遅延時間がゼロになり、鍵盤を押すとただちに最大レベルに達します。
- ㉓ **RELEASE (リリリース)** – 「VOCODER」「HUMAN VOICE」および「STRINGS」に作用するフェーダーです。演奏したノートが最大音量から減衰する時間を調節します。「0」に設定すると減衰時間がゼロになり、鍵盤 から手を離すとただちにサウンドはオフになります。

Strings (ストリングス部)

キーボードでストリングスのシミュレーションを演奏するためのセクションです。レベル調節は「BALANCE」部の「STRINGS」フェーダーでおこないます。

- ㉔ **ATTACK (アタック)** – 「STRINGS」部で演奏したノートが、最大音量に達するまでの時間を調節します。
- ㉕ **TONE (音色)** – 「STRINGS」部の音色を調節します。

- ㉖ **LOWER (低音部)** – ストリングス シミュレーションの演奏にキーボード低音部を選択します。
- ㉗ **UPPER (高音部)** – ストリングス シミュレーションの演奏にキーボード高音部を選択します。

左下コントロール類

- ㉘ **HIGH/LOW (オクターブ高/オクターブ低)** – キーボードの音程に作用します。「HIGH」にするとキーボードの音程が1オクターブ上がり、「LOW」にすると1オクターブ下がります。
- ㉙ **TUNE (チューン)** – ピッチを上下し、調整します。
- ㉚ **VOLUME (音量)** – 背面パネル メイン出力の音量レベルを調節します。ヘッドフォン出力には作用しません。ユニットの電源を入れる前に最小レベルに絞り、その後、徐々に快適なりスニング音量まで上げてください。

Pitch Shift (ピッチシフト部)

- ㉛ **AUTO (自動)** – ノート演奏時、自動的にピッチが増大します。「TIME (タイム)」および「PITCH SET (ピッチ設定)」ノブでタイミングおよびピッチシフト幅を調節します。
OFF (オフ) – 外部ペダルを押さない限り、ノート演奏時の自動的なピッチ増大は生じません。
MANUAL (手動) – ノート演奏時、「DOWN/NORMAL (ダウン/ノーマル)」フェーダーを使用して、ピッチシフトができます。
- ㉜ **DOWN/NORMAL (ダウン/ノーマル)** – 水平方向のフェーダーで、隣接するスイッチを「MANUAL (手動)」に設定している時に使用すると、手動でピッチシフトができます。ピッチシフトレンジは「PITCH SET (ピッチ設定)」ノブで設定します。
- ㉝ **PITCH SET (ピッチ設定)** – ピッチシフトを開始する音程を調節します。
H 側: ピッチシフトしません。
L 側: ピッチシフトが最大となります。
- ㉞ **TIME (タイム)** – ピッチシフトが開始するまでの時間を調節します。「MANUAL」モードでは 効果は生じません。

背面パネル

- ㉟ **POWER (電源スイッチ)** – すべて必要な接続を行ってから、このスイッチをオンにします。本機使用中に電源スイッチに手が届きやすいよう、設置にご配慮ください。
- ㊱ **AC IN (AC 入力)** – 100 ~240 VAC、50/60 Hz に対応した AC 電源に接続します。必ず付属の電源コードをご使用ください。
- ㊲ **VENTILATION (換気スロット)** – 換気スロットから取り込まれる空気の流れにより、内部回路を冷却します。換気スロットはいずれも塞がないようにしてください。
- ㊳ **MIC (XLR マイクロフォン入力)** – ボコーダーで使用するマイクロフォンを接続します。ファンタム電源を必要とするマイクロフォンはご使用になれません。1 度にご使用できるマイクロフォン入力はいずれか一方のみです。
- ㊴ **MIC (TRS マイクロフォン入力)** – ボコーダーで使用するマイクロフォンを接続します。
- ㊵ **PHONES (ヘッドフォン出力)** – ステレオヘッドフォンを接続します。トップパネルの「PHONES LEVEL (ヘッドフォン音量)」(4)ノブが下がっていることを確認してからヘッドフォンを装着し、その後安全なりスニング音量まで上げててください。
- ㊶ **EXT SYNTH IN (外部シンセサイザー入力)** – この入力端子は、シンセサイザーなど外部機器のラインレベル オーディオ出力との接続に使用します。入力レベルは、トップパネルの「EXT SYNTH (外部シンセサイザー)」(5) 入力レベルフェーダーで調節します。
- ㊷ **VOCODER HOLD (ボコーダーホールド)** – 標準的なフットペダルスイッチを接続すると、ボコーダーの有効/無効を簡単に切り替えられます。
- ㊸ **PITCH (ピッチシフト)** – 標準的なフットペダルを接続すると、ピッチシフト効果をオン/オフできます。ピッチシフトスイッチ (31) の位置は必ず「OFF (オフ)」外部コントロール) にしてください。

- ㊹ **L/M/H スイッチ** – 3 段階の出力レベル「Low (低)」、「Medium (中)」または「High (高)」から、お使いのシステムに最も適したものを選択します。たとえば、「Low」はミキサーチャンネル入力との接続に使用し、「High」はラインレベル入力に、もう少し低いレベルの方が適していれば「Medium」を使用するなどです。
- ㊺ **MONO (モノラル) 出力** – アンプリファイアまたはパワードスピーカー1台、もしくはミキサーチャンネル等の接続に使用する出力端子です。VOCODER VC340 の内部チャンネル 2 つを統合し出力します。
- ㊻ **STEREO (ステレオ) 出力** – VOCODER VC340 をステレオシステム、たとえば 2 チャンネルアンプリファイア、パワードスピーカー 2 台、2つのミキサーチャンネル等に接続する場合、この出力端子と「Mono (モノラル)」出力を使用します。

MIDI (MIDI 部)

- ㊼ **MIDI IN (MIDI 入力)** – MIDI キーボード、外部ハードウェアシンセサイザー、MIDI インターフェイス装備のコンピュータほか、外部音源からの MIDI データを受信する、5 ピン式 DIN ジャックです。
- ㊽ **MIDI THRU (MIDI スルー)** – MIDI 入力から受信した MIDI データを、そのまま他の機器へパススルーします。
- ㊾ **MIDI OUT (MIDI 出力)** – VOCODER VC340 で生成した MIDI データを、外部シンセサイザーや MIDI インターフェイス装備のコンピュータなど、別の MIDI 機器に送信する端子です。
- ㊿ **USB ポート** – コンピューターと接続するための USB B タイプジャックです。VOCODER VC340 はクラスコンプライアント USB MIDI 機器ですので、MIDI 入出力に対応します。

USB MIDI 入力 – アプリケーションからの MIDI データを受け入れます。

USB MIDI 出力 – MIDI データをアプリケーションに送ります。

VOCODER VC340 はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

本スタートアップガイドでは、VOCODER VC340 アナログシンセサイザーのセットアップ方法について解説し、また機能についても簡潔にご紹介します。

接続

VOCODER VC340 をお使いのシステムに接続する際は、本マニュアル冒頭の接続例をご参照ください。

ソフトウェア セットアップ

VOCODER VC340 は USB クラスコンプライアント MIDI 機器のため、ドライバのインストールは不要で、Windows および MacOS で使用するためのドライバも特に必要ありません。

ハードウェアセットアップ

- システム内の接続をすべて完了します。
- 必ず付属の IEC 電源コードを使用して、VOCODER VC340 を電源に接続します。
- メイン音量ノブが下がっており、お使いのアンプリファァまたはパワードスピーカーの電源がオフになっていることをご確認ください。
- 背面パネルの電源スイッチをオンにしてから、システムの他の機器の電源もオンにします。

UPPER/LOWER (高音部/低音部)

キーボードスプリットは 2 箇所、トップパネルに「HIGH」「LOW」と表記されており、オクターブスイッチの「HIGH/LOW」の設定によって、スプリット位置が決まります。「UPPER (高音部)」スイッチを「ON (オン)」にすると、スプリットより上の鍵盤が演奏できます。「LOWER (低音部)」スイッチを「ON」にすると、スプリットから下の鍵盤が演奏できます。

初期セットアップ (ストリングス)

次に「STRINGS (ストリングス)」部を例にとって初期セットアップを解説します:

- 「STRINGS」部の「UPPER」と「LOWER」の両スイッチをオンにします。
- 「BALANCE (バランス)」部の「STRINGS」フェーダーを上げます。
- キーボードを演奏しながら「VOLUME (音量)」および外部機器の設定を調節し、安全なリスニング音量に設定します。
- 「ATTACK (アタック)」フェーダー を使用して、鍵盤を押してから最大音量になるまでの時間を調節します。
- 「RELEASE (リリース)」フェーダーを使用し、鍵盤を放してから音量が減衰する時間を調節します。このフェーダーは「HUMAN VOICE (ヒューマンボイス)」および「VOCODER (ボコーダー)」にも作用します。
- 「TONE (トーン)」フェーダーを調節します。

ヒューマンボイスの付加

- いずれかの「HUMAN VOICE (ヒューマンボイス)」スイッチを押します。
- 演奏しながら「BALANCE (バランス)」部にある「HUMAN VOICE」フェーダーを調節します。必要に応じ、「STRINGS (ストリングス)」フェーダーを再度調節してバランスを取ったり、または下げる/オフにするなどします。
- 「ENSEMBLE (アンサンブル)」など、ほかのスイッチを使って音色を試します。
- 必要に応じて「HUMAN VOICE」部の「ATTACK (アタック)」フェーダーを調節します。
- 「STRINGS」部で述べた内容を参照し、「RELEASE (リリース)」フェーダーを調節します。
- 必要に応じて、3 つの「VIBRATO (ビブラート)」フェーダーを調節し、ヒューマンボイスにモジュレーションを加えます。これらのフェーダーは「VOCODER」にも作用します。

ダイレクトマイクロフォンの追加

- マイクロフォンをオンにし、歌ったり喋ったりしながら、ボコーダーの付加されていないダイレクトな声が聞こえるようにします。ダイレクトボーカルは、鍵盤を弾かなくても聞くことができます。
- 隣接する赤色 LED がレベル超過で点灯しないように気をつけながら、「VOCODER (ボコーダー)」部の「MIC LEVEL (マイクレベル)」フェーダーを調節します。
- 「BALANCE (バランス)」部の「DIRECT MIC (ダイレクトマイク)」フェーダーを調節し、必要に応じて「STRINGS」および「HUMAN VOICE」フェーダーも調節します。

ボコーダーの使用

- 「VOCODER」部の「UPPER (高音部)」および「LOWER (低音部)」スイッチをオンにします。
- マイクロフォンのスイッチをオンにして、歌ったり喋ったりします。
- 「DIRECT MIC」「STRINGS」および「HUMAN VOICE」の各フェーダーを下げます。
- 「VOCODER」部の「MIC LEVEL」フェーダーを、隣接する赤色 LED がレベル超過で点灯しないように気をつけながら調節します。
- キーボードを演奏しながら、歌い/喋り、「VOCODER」からの出力を聞きます (歌いも喋りもせずに演奏した場合、また「MIC LEVEL」が下がっている場合は、出力されません)
- 「ENSEMBLE (アンサンブル)」を使って音色の変化を試します。
- スピーカーからのフィードバックを避けるため、「VOCODER」部の「TONE (トーン)」フェーダーを調節し、また「MIC LEVEL」も再度調節します。
- 必要に応じて、3 つの「VIBRATO (ビブラート)」フェーダーを調節し、ボコーダーにモジュレーションを付加します。これらのフェーダーは「HUMAN VOICE」にも作用します。
- ストリングスやヒューマンボイスを付加したい場合は、「BALANCE」部の各フェーダーを調節してください。

ボコーダーホールドペダル

フットスイッチを背面パネル「VOCODER HOLD (ボコーダーホールド)」入力に接続すると、「VOCODER (ボコーダー)」の有効/無効を切り替えることができます:

- 歌いながら演奏し、ボコーダーボーカルが聞こえる時に、フットスイッチを長押しします。
- フットスイッチをリリースすると、ボーカルがオフになります。

ボコーダーと外部シンセサイザーの併用

内部ボコーダー回路ではなく、外部シンセサイザーからオーディオを入力し、ボーカルに作用させることができます。その際、「VOCODER (ボコーダー)」部の「UPPER/LOWER (高音部/低音部)」スイッチの効果はオフになります。

- 外部シンセサイザーのラインレベルオーディオ出力を、本機背面パネルの「EXT SYNTH (外部シンセサイザー)」入力に接続します。
- シンセサイザーを演奏しながら、「EXT SYNTH」部の「INPUT LEVEL (入力レベル)」フェーダー を調節し、隣接する赤色 LED が点灯しないよう設定します。
- 歌ったり喋ったりしながら「VOCODER」部の「MIC LEVEL (マイクレベル)」フェーダーを調節し、隣接する赤色 LED が点灯しないレベルに設定します。
- キーボードを演奏しながら歌ったり喋ったりすると、外部シンセサイザーのオーディオによるボーカルの変化を聞き取ることができます。

ピッチシフト

演奏したノートのピッチを自動/手動でシフトしたり、または背面パネルのピッチコントロール コネクターにペダルを接続して選択したりできます。「AUTO/OFF/MANUAL (自動/オフ/手動)」スイッチや付近のコントロール類を使用し、ピッチシフト効果を調節します:

AUTOMATIC (自動)

ノートおよびボーカルのピッチが自動的に増大します。

「PITCH SET (ピッチ設定)」ノブを使用してピッチを調節します。自動モードでは、ノブの位置を「H」にするとピッチ増大幅が最大になります。そのため、すでにノブの位置が「H」になっている場合は、ピッチシフト効果が生じません。ノブの位置を「L」にすることで、ピッチシフト効果が最大になります。

「TIME (タイム)」ノブを使用し、ピッチシフト効果が開始するまでの時間を設定します。

OFF/EXT CONTROL (オフ/外部コントロール)

この位置では、オプションの外部フットスイッチを背面パネルの「PITCH SHIFT (ピッチシフト)」端子に接続して操作しない限り、ピッチシフト効果は生じません。

先述の「AUTOMATIC (自動)」と同様にセッティングおよびコントロールをしながらフットスイッチを踏み込むと、ピッチシフトが起こります。フットスイッチをリリースすると、ピッチシフト効果をストップします。

MANUAL (手動)

「DOWN/NORMAL (ダウン/ノーマル)」フェーダーを使用して、演奏しながら簡単にピッチシフト操作ができます。

「PITCH SET (ピッチ設定)」ノブを使用して、フェーダーのピッチレンジを設定します。例えば: ノブの位置が「H」- フェーダーを動かしてもエフェクトはかかりません。ノブの位置が「L」- フェーダーによって最大幅のピッチシフトができます (「MANUAL (手動)」モードでは「TIME (タイム)」ノブを回してもサウンドに作用しません)。

ファームウェアアップデート

当社ウェブサイト behringer.com をチェックして、VOCODER VC340 シンセサイザーのファームウェアアップデートがあるかどうかをご確認ください。ファームウェアファイルをお使いのコンピューターにダウンロードおよび保存してから、VOCODER VC340 のアップデートにご使用ください。ファイルには詳細な解説およびアップデート手順が付属しています。

さあ、楽しくお使いください。

本マニュアル巻末のパッチシートをコピーし、好みのセッティングを記録しましょう。

本機のコントロール類を操作することで、音楽的創造性が無限に広がります。当社一同、お客様に VOCODER VC340 を楽しくご使用いただけることを心より願っております。

VOCODER VC340 Special Modes

VELOCITY

The keyboard velocity can be set to a fixed value, or a value that varies dynamically with how hard the keys are struck. The following procedure shows how to change the velocity:

1. Turn off the Power.
2. Hold down both ENSEMBLE switches while turning on the power.
3. If all the LEDs blink fast, then the current velocity is a fixed value (127). The loudness of the notes will not change if the keys are pressed soft or hard.
4. If all the LEDs blink slowly, then the current velocity will vary dynamically. The loudness of the notes will vary if the keys are pressed soft or hard.
5. Release the two ENSEMBLE switches and the VC340 will save the current setting.
6. To change to the other setting, repeat steps 1 and 2.

MIDI Channel

The MIDI transmit and receive channel numbers can be selected from 1 to 16, using the following procedure:

1. Turn off the Power.
2. Hold down both the STRINGS section UPPER and LOWER switches, while turning on the power.
3. All LEDs should flash 3 times fast, showing that the VC340 is in its MIDI channel setting mode.
4. Release the STRINGS switches.
5. To first set the MIDI RX channel, set the OCTAVE switch to HIGH.
6. The 8 VOCODER and HUMAN VOICE switches are used to select the channel numbers as follows:
7. If the STRINGS LOWER switch is selected, the 8 switches represent channel numbers 1 to 8.
8. If the STRINGS UPPER switch is selected, the 8 switches represent channel numbers 9 to 16.
9. Select the required channel number.
10. To set the MIDI RX channel to ALL, press and hold both ENSEMBLE switches. (This is only available in RX, so the VC340 can receive incoming MIDI from all channels.)

11. To select the MIDI TX channel, first set the OCTAVE switch to LOW, and repeat steps 6 to 9 above.
12. To exit, press both the STRINGS UPPER and LOWER switches at the same time. The channel numbers will be saved, and the VC340 returned to normal operation.

Examples

To set MIDI RX to channel 3:


13. OCTAVE switch HIGH
 14. STRINGS LOWER ON
 15. VOCODER ENSEMBLE switch ON
 16. Press STRINGS UPPER and LOWER at the same time to exit
- To set MIDI TX to channel 10:
17. OCTAVE switch LOW
 18. STRINGS UPPER ON
 19. VOCODER UPPER switch ON
 20. Press STRINGS UPPER and LOWER at the same time to exit

To set MIDI RX to ALL:


21. OCTAVE switch HIGH
22. Press both ENSEMBLE switches at the same time. All 8 LEDs will be on.
23. Press STRINGS UPPER and LOWER at the same time to exit

MIDI Channel number selection





















MIDI RX

HIGH
→ 
LOW

MIDI TX

HIGH
→ 
LOW

Set HIGH when adjusting MIDI RX channel
Set LOW when adjusting MIDI TX channel

Vocoder			Human Voice					Strings	
 1 LOWER	 2 UPPER	 3 ENSEMBLE	 4 MALE 8'	 5 MALE 4'	 6 MALE 8'	 7 FEMALE 4'	 8 ENSEMBLE	 ON LOWER	 UPPER
 9 LOWER	 10 UPPER	 11 ENSEMBLE	 12 MALE 8'	 13 MALE 4'	 14 MALE 8'	 15 FEMALE 4'	 16 ENSEMBLE	 LOWER	 ON UPPER

VOCODER VC340 SysEx information

SYSTEM EXCLUSIVE COMMANDS

Some parameters can be changed using MIDI system exclusive (SysEx) commands. A MIDI utility such as MIDI OX can be used to send a SysEx command data string from the computer to the VOCODER VC340 using the USB MIDI connection. Please see the VOCODER VC340 product page on our website for more details of the SysEx commands.

JP

技術仕様

Synthesizer Architecture	
Implementation	Analog
Keyboard	
Keys	37 semi-weighted, full-size keys
Keyboard sensing	Note on/off velocity
Upper Left Section	
Faders	External sythesizer input level
Rotary knobs	Headphones level
LED	Power, external signal present, clip (red)
Lower Left Section	
Faders	Pitch shift: down-normal
Rotary knobs	Volume, tune, pitch set, pitch time
Switches	Keyboard split selection: low/high, pitch shift: auto/off (external control)/manual
Balance Section	
Faders	Direct mic level, human voice level, strings level
Vibrato Selection	
Faders	Rate, delay time, depth
Vocoder Section	
Faders	Tone, mic input level
Switches	Lower, upper, ensemble
LEDs	Mic signal present, mic clip (red), lower, upper, ensemble
Human Voice Section	
Fader	Attack
Switches	male 8’ lower, male 4’ lower, male 8’ upper, female 4’ upper, ensemble
LEDs	male 8’ lower, male 4’ lower, male 8’ upper, female 4’ upper, ensemble
Release Section	
Fader	Release (for strings, human voice, vocoder)
Strings Section	
Faders	Attack, tone
Switches	Lower, upper
LEDs	Lower, upper

Rear Panel	
Switches	Power on/off, output level: low/medium/high
Connectivity	
MIDI In/Out/Thru	5-pin DIN / 16 channels
USB	USB 2.0, type B
Pitch control	¼" TS
Vocoder hold	¼" TS
External synth input	¼" TS, unbalanced, max. +12 dBu
Output L/R	¼" TS, stereo or mono, unbalanced, max. +14 dBu (high), +0 dBu (mid), -13 dBu (low)
Headphones	¼" TRS, unbalanced, max. +12 dBu @ 32 ohm load
Microphone input	¼" TRS, and XLR female, max. -3 dBu
USB	
Type	Class compliant USB 2.0, type B
Supported operating systems	Windows 7 or higher Mac OS X 10.6.8 or higher
Power Requirements	
Mains connector	Standard IEC receptacle
Power consumption	15 W max.
Internal Switch-mode PSU	Autorange 100-240 V, (50/60 Hz)
Environmental	
Operating temperature range	5°C – 40°C (41°F – 104°F)
Physical	
Dimensions (H x W x D)	103 x 649 x 257 mm (4.1 x 25.6 x 10.1")
Weight	6.6 kg (14.5 lbs)
Shipping Weight	8.4 kg (18.5 lbs)

その他の重要な情報

JP

その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

VOCODER VC340 Patch Sheet

Patch Number

The diagram illustrates the control panel of a Moog Synthesizer, organized into several functional sections:

- STRINGS:** Includes a **TONE** slider (0 to 10) and a **RELEASE** slider (0 to 10). There are two **UPPER** and **LOWER** envelope generators, each with a **ATTACK** slider (0 to 10).
- HUMAN VOICE:** Features a **RELEASE** slider (0 to 10) and four envelope generators for **MALE** (4', 8') and **FEMALE** (4', 8') voices, each with an **ATTACK** slider (0 to 10).
- VOCODER:** Includes three envelope generators for **MALE** (8', 4'), **MALE** (4'), and **ENSEMBLE**, each with an **ATTACK** slider (0 to 10).
- VIBRATO:** Contains three **TONE** sliders (0 to 10) and three **DEPTH** sliders (0 to 10). There are also **RATE** and **DELAY** sliders (0 to 10).
- BALANCE:** Features three **DIRECT** sliders (0 to 10) and three **HUMAN VOICE** sliders (0 to 10).
- EXT SYNTH:** Includes an **INPUT LEVEL** slider (0 to 10).
- PHONES:** Has a **LEVEL** knob (0 to 10) and a **TUNE** knob (b, #).
- PITCH SET:** Includes a **PITCH SET** knob (L, H) and a **PITCH SHIFT** switch (NORMAL, DOWN, UP).
- Other Controls:** A **VOLUME** knob (0 to 10), a **TIME** knob (SHORT, LONG), and a **PITCH SET** switch (NORMAL, DOWN, UP).

We Hear You